

令和5年度当初予算・令和4年度2月補正

支出科目	款：教育費	項：教育総務費	目：私学振興費
担当課	学事課		
事業名	私学振興補助金（一部国庫）		

目的

多様化する県民ニーズに対応できる教育機会を提供するため、私立学校の個性豊かな特色ある教育の推進を支援することにより、私学教育の振興を図る。

事業説明

対象者

学校法人等

事業内容

私立学校の経常的な運営費や耐震化工事に対する補助、授業料の軽減など、学校法人等に対し助成を実施することにより、個性豊かな特色ある私学教育を支援する。

(単位：千円)

区分	内容	要求額	
		令和4年度 2月補正予算	令和5年度 当初予算
1 経常費補助金	私立学校の経常的な運営費に対する補助	—	(債務27,316) 24,092,309
2 私立高等学校等就学支援総合対策事業	私立高等学校等の生徒のいる世帯に対する授業料や学費負担が困難な者に対する授業料・入学金の減免相当額等を補助		
3 私立小中学校就学支援総合対策事業	私立小中学校の生徒のいる世帯で学費負担が困難な者に対する授業料の減免相当額を補助		
4 通信制高等学校教科書給与事業等補助金	教科書等給与に対する補助		
5 私学共済掛金補助金	私学共済の長期掛金の8/1,000を補助		
6 退職金掛金補助金	私立学校退職金掛金の20/1,000を補助		
7 私学振興資金利子補給事業補助金	私立学校の耐震改修等に係る借入に対して利率1%相当を補助		
8 連盟等補助金	連盟主催の研修会等に対する補助		
9 私立学校耐震化緊急促進事業費補助金	私立学校が実施する耐震化事業に要する経費の一部を補助		
10 私立学校教育施設・設備高機能化補助金	私立学校のデジタル教育関連機器の導入・更新等に要する経費の一部を補助		
11 私立学校におけるデジタル技術活用推進事業補助金	広島県私立中学高等学校協会が実施するデジタル教育環境の向上に向けた取組に対する補助		
12 幼児教育の無償化	幼児教育の無償化の実施に要する経費の一部を負担		
13 高等教育の修学支援新制度	私立専門学校における授業料等減免に要する経費の一部を負担		
14 私立専修学校新型コロナウイルス感染症対策補助事業	私立専修学校の新型コロナウイルス感染症対策のための保健衛生用品等の購入経費に対する補助		
15 私立専門学校「職業実践専門課程」推進補助金	私立専門学校が「職業実践専門課程」として認定を受け継続するために必要な経費を補助		
16 授業目的公衆送信補償金補助事業	私立学校設置者に対して、オンライン授業等で著作物を利用するために要する経費を補助		
17 私立幼稚園の教員等確保支援補助金	私立幼稚園における教員等の人材確保の取組に要する経費を補助		
18 感染症流行下における学校教育活動体制整備事業	私立学校の新型コロナウイルス感染症対策のための保健衛生用品の購入経費等に対する補助	124,642	—
19 私立幼稚園の感染症対策支援事業	幼稚園の新型コロナウイルス感染症対策のための保健衛生用品の購入経費等に対する補助		
20 私立幼稚園のデジタル環境整備支援事業	幼稚園のデジタル環境を整備するために要する経費に対する補助		
合計		124,642	24,092,309

## 成果目標

- 事業目標 : 私立高等学校の募集定員に対する入学者数の割合  
 (R3実績) R4. 4. 1時点 98.0% (R5目標) R5. 4. 1時点以上

## 事業費 (単位: 千円)

	事業費	財 源 内 訳								
		国 庫 支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源	
査定額	令和5年度当初予算 (債務27,316)	24,092,309	8,544,973	0	0	0	0	1,003	15,900	15,530,433
	令和4年度2月補正予算	124,642	124,642	0	0	0	0	0	0	0
要求額	令和5年度当初予算 (債務27,316)	24,092,309	8,544,973	0	0	0	0	1,003	15,900	15,530,433
	令和4年度2月補正予算	124,642	124,642	0	0	0	0	0	0	0
前年度当初予算額	(債務23,171)	24,150,067	8,401,898	0	0	0	0	1,589	34,900	15,711,680

※国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (R4: 59,753千円, R5: 13,900千円)

## 査定結果

要求どおり

## 令和4年度2月補正

支出科目	款：教育費 項：教育総務費，保健体育費 目：私学振興費，保健体育総務費
担当課	高校教育指導課，豊かな心と身体育成課，特別支援教育課，学事課
事業名	学校給食等負担軽減事業（国庫）

### 目 的

食材価格が高騰する中においても、これまでどおり栄養バランスや量を保った学校給食等を実施するため、学校への支援を行うことで、保護者の負担軽減を図る。

### 事業説明

#### 対象者

学校給食等を実施する県立学校及び私立幼稚園（子ども・子育て支援新制度に移行していない園）・小学校・中学校・高等学校の設置者

#### 事業内容

学校給食等における、食材費の価格上昇分を支援する。

【期間】令和5年4月～令和5年9月

（単位：千円）

内 容		2月補正 要求額
学校給食費の 負担軽減	【県立】 ・学校給食19校 （中・高等学校4校，特別支援学校15校） ・寄宿舍14校 （中・高等学校11校，特別支援学校3校）	24,498
	【私立】 ・学校給食43校 （幼稚園37園，小学校4校，中学校2校） ・寄宿舍20校 （小・中・高等学校20校）	40,790
合 計		65,288

### 成果目標

- 事業目標：栄養バランスや量を保った学校給食等の実施

### 事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	65,288	65,288	0	0	0	0	0	0	0
要求額	65,288	65,288	0	0	0	0	0	0	0
現計予算額	48,652	48,652	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（65,288千円）

### 査定結果

要求どおり

令和5年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：大学費 目：大学費
担当課	高等教育担当
事業名	<b>高等教育推進費（単県）</b>

目的

県立広島大学の学部・学科等の再編と叡啓大学の開設を両輪とする県大改革を着実に実施するとともに、県内大学・短大の連携による高等教育の魅力向上に向けて、県内どこの大学等においても、これからの社会で求められるデジタルリテラシーを修得できる環境整備を進める。

事業説明

対象者

県立広島大学、叡啓大学、県内大学・短大等

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	要求額
広島県公立大学法人 運営費交付金	標準運営費交付金 ○ 県立広島大学及び叡啓大学の標準的な業務運営に要する経費 ・人件費、教育研究費、一般管理費、学生支援経費等	4,102,257
	特定運営費交付金 ○ 特定の期間に限定される事業や年度で所要額が変動する事業等に要する経費 ・高等教育の修学支援新制度（入学金・授業料の減免等） ・退職手当 など	425,333
	小 計	4,527,590
大学の魅力づくり推進事業	○ 遠隔講義システムによる県内大学等のネットワーク化 ・遠隔講義システム関連機器の整備支援 ○ 県内大学等の連携によるデジタルリテラシー教育の推進 ・県内大学等へのデジタル関連教材の提供、専任教員の派遣 ○ 県内大学等の魅力発信 ・「広島県大学情報ポータルサイト」の運営、改修 ～リカレント教育プログラム情報の一括発信	80,916
合 計		4,608,506

成果目標

- ワーク : 09 高等教育の充実
- ワーク目標 : 遠隔講義システムを活用して大学連携に係る取組を実施する大学・短大数  
(R3実績) 11大学・短大 (R5目標) 23大学・短大 (R7目標) 25大学・短大

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	4,608,506	0	0	0	0	0	0	0	4,608,506
要求額	4,608,506	0	0	0	0	0	0	0	4,608,506
前年度当初予算額	4,446,834	82,100	0	0	0	0	0	0	4,364,734

査定結果

要求どおり

令和5年度当初予算

支出科目	款：衛生費	項：環境保全費	目：環境保全総務費
担当課	環境政策課		
事業名	地球温暖化対策推進事業（単県）【新規】		

目的

ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けて、省エネ住宅や省エネ家電の普及・拡大を図るため、情報発信や省エネ家電購入に対する助成を行うとともに、中小事業者の自主的な省エネ設備改修等を後押しするため、業界団体等と連携した情報発信や補助金活用等支援を行う。

事業説明

対象者

県民・中小事業者

事業内容

【環境保全基金充当】

(単位：千円)

内 容		要求額
家庭向け支援	省エネ機器導入支援事業 ○LED照明機器の購入経費に対する補助 補助率：1/2, 補助上限：10,000円, 補助件数：20,000件 ○省エネ家電への更新メリットを周知し、家電の省エネ化を推進	200,000
	スマートハウス普及促進事業 ○スマートハウス等の普及・啓発 太陽光発電や蓄電池などを有効活用し、空調等のエネルギー効率が高いスマートハウス等省エネ住宅の普及・啓発	5,000
事業者向け支援	中小企業省エネルギー普及啓発・導入支援事業 ○制度周知等情報発信 省エネ設備改修等を促進するため、業界団体等と連携した総合相談会などの開催 ○補助金活用支援 企業等が行う省エネ設備改修における国補助金等の活用に向けた支援 ○伴走型省エネ支援 自力では省エネ設備改修等の対応が困難な企業を伴走型で支援し、優良事例を創出	46,780
合 計		251,780

成果目標

- 事業目標 : LED照明器具の買替によるCO2削減量 (R5目標) 368 t  
省エネ住宅の普及啓発によるCO2削減量 (R5目標) 150 t  
支援による省エネ設備改修等実施件数 (R6目標) 230件
- ワーク : 95 ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けた地球温暖化対策の推進
- ワーク目標 : 二酸化炭素排出量(家庭) (H25実績) 579万 t (R5目標) 383万 t (R7目標) 344万 t  
二酸化炭素排出量(産業) (H25実績) 4,094万 t (R5目標) 3,265万 t (R7目標) 3,099万 t

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	251,780	0	0	0	0	251,780	0	0	0
要求額	251,780	0	0	0	0	251,780	0	0	0
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和5年度当初予算

支出科目	款：衛生費	項：環境保全費	目：生活環境対策費
担当課	環境保全課		
事業名	海ごみ対策推進事業（一部国庫）【一部新規】		

目的

海ごみに係る喫緊の問題を解決するために、市町が行う海ごみの回収・処理等の取組を支援するとともに、海ごみの発生抑制を図ることで、総合的・効果的な海ごみ対策を進める。

事業説明

対象者

県民，事業者，市町

事業内容

【産業廃棄物抑制基金充当】 (単位：千円)

内 容	要求額
生活由来の海洋プラスチックごみ（ペットボトル等）対策を講じていくため、次の取組を実施する。 ○「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」の運営 ・参画企業と連携した、ワンウェイプラスチックの削減やデポジット制などのプラスチック使用量削減に向けたモデル事業の実施 ・屋外回収拠点の多様化による流出防止対策モデル事業の実施 ○微細マイクロプラスチック共同研究の実施【新規】	(債務 22,000) 63,754
市町が実施する海ごみ対策を支援するとともに、海岸漂着ごみの実態を把握するため、次の取組を実施する。 ○市町が実施する海ごみ対策への補助 ・補助対象：海ごみの回収・処理，発生抑制に係る事業等 ・補助率：7/10（※離島地域9/10，過疎地域8/10） ○海岸漂着ごみの実態把握調査	55,970
合 計	(債務 22,000) 119,724

成果目標

- 事業目標：事業者と連携したプラスチック使用量削減・代替素材に係るモデル事業の実施件数 5件  
調査・分析に基づく流出防止対策の実施，拡充（R5目標）

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	(債務 22,000) 119,724	15,400 76,062	0	0	0	6,600 43,662	0	0	0
要求額	(債務 22,000) 119,724	15,400 76,062	0	0	0	6,600 43,662	0	0	0
前年度当初予算額	112,883	93,681	0	0	0	19,202	0	0	0

査定結果

要求どおり

**令和5年度当初予算**

支出科目	款：民生費 項：児童福祉費 目：青少年女性対策費
担当課	わたらしい生き方応援課
事業名	<b>わたらしい生き方応援拠点づくり事業（単県）</b>

**目的**

性別にかかわらず、多様な選択をすることができ、「わたらしく」生きることができる社会の実現に向け、広島県女性総合センター（エソール広島）の活動拠点性を高めるため、機能の充実・強化を図る。

**事業説明**

**対象者**

県民、団体、NPO、企業 等

**事業内容**

エソール広島の拠点性の充実・強化に向け、県民、団体、NPO、企業等多くの活動主体を巻き込み、誰もが、性別にかかわらず「わたらしい生き方」を実現するための活動の活発化を図る。

(単位：千円)

内 容	要求額
○エソール広島（おりづるタワー）賃借料	48,529
○（公財）広島県男女共同参画財団への運営費等補助 ・研修・交流事業：わたらしい生き方を選択できるための講座，対人援助者支援講座，高校生向けLGBT等講座，社会課題に関するセミナーのYouTube配信，NPO・企業等と連携した意見交換等 ・相談事業：一般相談及びLGBT相談（電話・面接により実施），専門家相談 ・情報発信：HPやSNSによる情報発信，DVD・図書貸出	38,131
合 計	86,660

**成果目標**

- 事業目標：エソール広島の年間利用者数（R3実績）13,279人（R5目標）30,000人
- ワーク：28 多様性を認め、それぞれの違いを尊重し合う環境づくり
- ワーク目標：（参考）性別にかかわらず、働き方や暮らし方を自分らしく選択できていると感じている人の割合（R4実績）58.0%（R5目標）67.0%（R7目標）75.0%

**事業費** (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	86,660	0	0	0	0	0	0	0	86,660
要求額	86,660	0	0	0	0	0	0	0	86,660
前年度当初予算額	86,660	0	0	0	0	0	0	0	86,660

**査定結果**

要求どおり

令和5年度当初予算

支出科目	款：総務費	項：企画費	目：企画総務費
担当課	文化芸術課		
事業名	地域文化拠点強化事業（単県）		

目的

市町や公立文化施設間で設置した「広島県公立文化施設ネットワーク」を通じて、文化資源や取組事例の共有等を推進し、各市町等が抱える、文化芸術事業の企画・運営に係る課題の解決支援に取り組む。また、モデル的に住民参画型の文化芸術事業を実施し、その事例を展開していくことで、地域における文化拠点を強化し、県民の身近において、地域の独自性ある魅力的な文化芸術イベントや良質な文化芸術を鑑賞する機会の充実を図る。

事業説明

対象者

県民、公立文化施設、市町

事業内容

内 容		要求額
広島県公立文化施設ネットワーク	<p>○公立文化施設ネットワークにおける取組を通じて、各市町等における文化芸術事業の企画・運営に係る能力等の向上を図りながら、地域での文化芸術の鑑賞機会の拡充を推し進める。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドシステムを活用した各市町の文化資源や取組事例等の共有</li> <li>・マーケティング思考に基づく文化芸術事業の企画立案に係る実証研究</li> <li>・施設間で連携した文化芸術事業の検討・実施</li> </ul>	4,918
文化芸術に係る地域住民参画型モデル事業	<p>○公立文化施設（3施設）を対象に、県による伴走支援の下、地域住民参画型の文化芸術事業をモデル的に実施し、事業の効果検証を行った上、地域の独自性ある事業の実施事例として各市町への展開を図る。</p>	14,656
合 計		19,574

（単位：千円）

成果目標

- 事業目標：新たに企画実施された文化芸術イベント等の鑑賞者数（R5目標）17,500人
- ワーク：74 文化芸術に親しむ環境の充実
- ワーク目標：文化芸術について関心がある県民の割合（R3実績）72.3%（R5目標）81.8%（R7目標）85.0%

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	19,574	0	0	0	0	0	0	0	19,574
要求額	19,574	0	0	0	0	0	0	0	19,574
前年度当初予算額	(債務14,626) 19,982	0	0	0	0	0	0	0	14,626) 19,982

査定結果

要求どおり

令和5年度当初予算

支出科目	款：衛生費	項：環境保全費	目：自然環境対策費
担当課	自然環境課		
事業名	もみのき森林公園活性化事業（単県）		

目的

広島県立もみのき森林公園について、多様化する利用者ニーズや施設の老朽化に対応するため、民間活用による新たな魅力創出のための基盤整備を行う。

事業説明

対象者

公園利用者

事業内容

（単位：千円）

内 容	要求額
新たな魅力創出にかかる基盤整備 ○令和6年度からの運営開始に向け、土地を貸付け、新たな魅力創出を行う「民間活用エリア」に事業者からの投資を呼び込むための基盤整備を実施 【整備内容】 ・民間活用エリアに必要な電気・給排水の整備 ・民間活用エリア内等の既存施設の改修 ・多目的広場等の芝生化 ・野外炉・野外卓の撤去 等	200,000

成果目標

- 事業目標：もみのき森林公園運営開始に向けた基盤整備の完成（R5目標）
- ワーク：98 自然環境と生物多様性の保全の実現
- ワーク目標：自然公園等利用者数（R1実績）9,642千人（R3実績）4,936千人（R5目標）R1実績より増加

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	0
要求額	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	0
前年度	(債務237,555)	0	0	0	38,625	0	0	0	198,930)
当初予算額	20,175	0	0	0	0	0	0	18,000	2,175

査定結果

要求どおり

令和5年度当初予算

支出科目	款：衛生費	項：環境保全費	目：自然環境対策費
担当課	自然環境課		
事業名	公園施設維持修繕事業（単県）		

目的

サミット開催に伴い、各国首脳等の利用が想定される自然公園等施設について、来園者が魅力を堪能し、その魅力を国内外に向けて発信してもらえよう、景観向上のための整備等を行う。

事業説明

対象者

サミット関係者、県民

事業内容

(単位：千円)

内 容	要求額
広島サミット関連整備 ○サミット関係者の来訪に備え、自然公園等施設の景観向上のための整備等を実施 【宮島】 ・公園内の道路（公園道）の整備やもみじ橋修繕 【中央森林公園】 ・日本庭園（三景園）内の潮見亭補修及び園路補修等 ・県道付近の樹木伐採等 【もみのき森林公園】 ・宿泊施設及び進入路の補修	42,860

成果目標

○事業目標：自然公園等施設の魅力向上

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	42,860	0	0	0	0	0	0	29,800	13,060
要求額	42,860	0	0	0	0	0	0	29,800	13,060
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和4年度2月補正

支出科目	款：衛生費	項：環境保全費	目：自然環境対策費
担当課	自然環境課		
事業名	国定公園等整備事業（一部国庫）		

目的

国定公園において防災・減災や安全対策を推進し、安全で快適な利用を促進する。

事業説明

対象者

県民

事業内容

		(単位：千円)
内 容		2月補正 要求額
西中国山地 国定公園 (三段峡)	国の経済対策を活用し、国定公園が安全・快適に利用できるよう、三段峡歩道の安全対策の調査・検討を講じる。 【事業箇所】西中国山地国定公園三段峡（安芸太田町横川） 【事業内容】三段峡歩道の安全対策 ・転石等の懸念がある箇所における法面对策の検討 ・災害が懸念される歩道法面の調査	27,000

成果目標

- 事業目標：県内自然公園等施設の安全点検（R5目標）全52地区
- ワーク：98 自然環境と生物多様性の保全の実現
- ワーク目標：自然公園等利用者数（R1実績）9,642千人（R3実績）4,936千人（R5目標）R1実績より増加

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	27,000	12,150	0	0	0	0	0	14,800	50
要求額	27,000	12,150	0	0	0	0	0	14,800	50
現計予算額	143,840	68,505	0	0	0	0	0	75,300	35

査定結果

要求どおり

令和4年度2月補正

支出科目	款：教育費 項：教育総務費，特別支援学校費，保健体育費 目：私学振興費，特別支援学校費，保健体育総務費 ほか
担当課	学事課，安心保育推進課，障害者支援課，乳幼児教育支援センター，特別支援教育課
事業名	<b>こどもの安心・安全対策支援事業（一部国庫）【一部新規】</b>

目的

送迎用バスへの安全装置の設置経費の支援等により，子供の安全を守るための万全の対策を講じるとともに，子供を預けている保護者の不安を解消する。

事業説明

対象者

保育所等，幼稚園（幼稚園型認定こども園を含む。），特別支援学校等，障害児通所支援事業所の設置者

事業内容

		（単位：千円）
内 容		2月補正 要求額
○	送迎用バスに安全装置を設置するための費用を，設置者に補助する。〔健康福祉局〕 障害児通所支援事業所：165事業所（バス303台） ※補助上限180千円/台	54,540
○	登園管理システム及びICTを活用した子供見守りサービスの導入支援等【新規】 <障害児通所支援事業所> 〔健康福祉局〕 登園管理システム：58事業所 ※補助率4/5，補助上限560千円/園 ICTを活用した子供見守りサービス：59事業所 ※補助率4/5，補助上限160千円/園	41,920
	<公立幼稚園・県立特別支援学校幼稚部> 〔教育委員会〕 登園管理システム：35園・2校 ※補助率4/5，補助上限560千円/園 等 ICTを活用した子供見守りサービス：38園 ※補助率4/5，補助上限160千円/園	32,203
	<私立幼稚園> 〔環境県民局〕 登園管理システム：120園 ※補助率4/5，補助上限560千円/園 ICTを活用した子供見守りサービス：140園 ※補助率4/5，補助上限160千円/園	89,600
○	運転手やバスに同乗する職員に対する安全管理研修を実施【新規】〔健康福祉局〕	1,000
合 計		219,263

成果目標

○ 事業目標：子供の安全を守るための対策の実施

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	219,263	202,880	0	0	0	0	0	0	16,383
要求額	219,263	202,880	0	0	0	0	0	0	16,383
現計予算額	102,240	102,240	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり